

An abstract graphic design featuring several clusters of musical notes and circles. A large, solid dark brown circle is positioned in the upper right. A smaller, solid magenta circle is located in the lower left. The background is filled with various musical notes and circles, some in dark brown and some in magenta, creating a rhythmic and musical pattern.

第 13 回

卒業演奏会

神戸大学教育学部音楽科



賛助出演 神戸大学交響楽団

日時：1963年3月22日（金）P.M.6:30

場所：国際会館大ホール

## ご あ い さ つ

神戸大学教育学部長 太 田 頼 常

わが国の音楽文化の発展は、文字通り「日進月歩」といえると思います。特に最近は、音楽及び音楽教育ともに急速度に飛躍し、ある面に於ては世界的水準を上廻るといった状況もみられ、誠に喜ばしく意を強くする次第であります。

本学の音楽科もまた着々とその成果を上げているようですが、学部の性質上、ともすれば象牙の塔にとじこもり独りよがりになりやすいきらいがあります。

この際、せめて卒業演奏だけでも街に進出し、地域社会との連けいを計りつつ更に飛躍したいとの意図から本夕この会場で演奏会を催すことになったのであります。

申すまでもなく、卒業生とはいうものの、まだまだ十分とはいいがたく、さだめしお聴き苦しいことと存じますが、本学ならびに巣立ちゆく者の将来のために、御遠慮のなき御批判賜りますようお願いいたしたく御挨拶に代える次第であります。

## ご あ い さ つ

神戸大学教育学部音楽科主任 伊 熊 良 穂

教育学部音楽科のあり方は、いわゆる音楽大学のそれとは多少趣きを異にしています。即ち、音楽芸術の探究と教育に関する知識技能の修練との両面をもっていることです。一見「二兎を追う……」とみられがちですが、その両面を完遂するためには二倍も三倍もの努力を必要とします。そのためには施設や教官の人員など十分とは申されませんが、絶えざる努力を続けて今日に至っているのであります。

演奏者は、音楽科主専攻と副専攻の者でそれぞれ四年間に研修した一部を最良の場で、最善の表現をすべく張切っている筈です。とはいえ芸術の世界はきびしく、あくまで「表現されたそのもの」に価値があり、それ以外の同情や条件の考慮などは禁物です。その意味に於て御来場の皆様からきびしい御批判を賜り、卒業生将来の発展に資したく一言おねがいならびに御挨拶申し上げる次第であります。

## ご あ い さ つ

音 楽 科 一 同

みなさん、今夜は御来場下さりまして誠にありがとうございます。卒業生、在校生一同非常に喜んでおります。今回またこのような立派な会場で四年間の研究の成果を発表することが出来ますのも、みなさま方の暖かい御理解、御協力の賜物と思っております。なお一層みなさまとの連携をはかり、更に立派な音楽会にし御期待に添うように頑張りたいと思っております。

未熟な者ばかりですが、それは音楽に対する情熱で補い頑張るつもりです。きょうのステージを踏み台にしてなお一層の精進を行う私達のために、今後とも暖かい御支援と御批判をうけたまわりたく思っております。よろしくお願い致します。

# 第 1 部

- |                |         |                 |
|----------------|---------|-----------------|
| 1. 女 声 合 唱     |         | 指 揮 石 田 純 一 教 官 |
| こ ども の 歌       | 清 水 脩   | 伴 奏 徳 丸 公 子     |
|                |         |                 |
| 2. メゾ・ソプラノ独唱   |         | 田 中 陽 子         |
| 鐘 が な り ま す    | 山 田 耕 笹 | 伴 奏 徳 丸 公 子     |
| 歌 劇 「ラ・ボエーム」より | ブッチェーニ  |                 |
| 私 の 名 は ミ ミ    |         |                 |
|                |         |                 |
| 3. テノール独唱      |         | 田 村 直 己         |
| 月 に さ ま よ う    | シューベルト  | 伴 奏 中 嶋 和 子     |
| ま す            | シューベルト  |                 |
| 歌 劇 「リゴレット」より  | ヴェルディ   |                 |
| あ れ か こ れ か    |         |                 |
|                |         |                 |
| 4. ピ ア ノ       |         | 井 奥 昌 代         |
| 二台のピアノの爲のソナタ   | モーツァルト  | 小 林 と し 教 官     |
| 「版 画」より        | ドビッシュー  |                 |
| 雨 の 庭          |         |                 |

## 第 2 部

1. 管 弦 楽 神戸大学交響楽団  
セミラミーデ序曲 ロッシーニ 指揮 松 永 明  
「白鳥の湖」より チャイコフスキー  
小さな白鳥の踊り  
シンコペイテッドクロック アンダーソン
2. メゾ・ソプラノ独唱 浜 朋 子  
歌劇「オルフォイス」より ゲルック 伴奏 神戸大学交響楽団  
いとしのエウリディーチェ
3. メゾ・ソプラノ独唱 上 中 達 子  
歌劇「サムソンとデリラ」より サン・サーンス 伴奏 神戸大学交響楽団  
君が御声に我が心開く
4. ソプラノ独唱 宮 崎 順 子  
歌劇「ドン・ジョバンニ」より モーツァルト 伴奏 神戸大学交響楽団  
打て打て マゼット
5. ピアノ独奏 赤 坂 恵 子  
コンチェルト・シュテユック ウェーバー 伴奏 神戸大学交響楽団